



市政会
府中市議会議員 松村 祐樹
ゆうきの市政通信

◇発行
松村 ゆうき
〒183-0032
府中市本宿町
2-20-27-101
TEL 042-369-1166

平成30年11月26日 発行

平成30年第3回府中市議会定例会が8月31日～9月28日の会期29日間で開催されました。今回の定例会の特徴としては、平成29年度の一般会計決算についての審議などを行う予算・決算特別委員会も開催されました。歳入では、1173億3703万4千円（前年度比7.1%増）、歳出では、1142億6547万2千円（前年度比7.1%増）となり賛成多数で可決となりました。

これまで以上に「府中市に住んでよかった」と感じていただけるような、まちづくりを進めていかなければなりません。今年度が終わりますと、平成が終わり、その先の時代に向かっていく事になります。

より素晴らしい市政運営となるように、これからも皆様の意見を聞きながら、より調査・研究を重ね反映できるよう努力していきます。

平成29年度一般会計決算が認定(主な成果を抜粋)

- 健康増進室の改修や運動プログラムを改定し、健康づくり環境の充実
- 地域子育て支援事業の充実（新たに設置した地域子育て支援センター「はぐ」北山・三本木）
- 西原町4丁目公園の開設
- 府中駅南口再開発ビル内に市民活動拠点施設の整備
- ラグビーワールドカップ2019、オリンピックパラリンピック2020のキャンプ地誘致に向けた取り組み（朝日サッカー場の改修工事）
- 観光情報センターを拠点とした、新たな観光資源の開発や観光ガイドツアーの実施

平成30年度 補正予算 (一部抜粋)

- 西府文化センターの受変電設備の故障に伴う改修工事
- 小・中学校で日よけのテントや体育館で使用する送風機の購入（熱中症対策）……………**市政会で要望実現**
- 学校敷地のブロック塀の安全に向けて対策……………**市政会で要望実現**
- 待機児童の多い1歳児の受け入れに関して助成（開設3年以内の認可保育所）
- 分倍河原駅の改良や自由通路整備に向けた調査や検討
- ラグビーワールドカップ2019の開催に向けての機運醸成

府中市私立住吉保育所 新築工事

東京都による都営府中南町アパートの立替事業に伴い市立住吉保育所の移転及び新築工事を行います。

市立住吉保育所は、現在都営住宅の一部で運営されておりますが、移転後は、単独の施設となります。

移転後の保育所は、鉄筋コンクリート造の地上3階建てとなり、1階部分で、1・2歳児の保育室及び地域子育て支援ひろば室が入り、2階は、3・4・5歳児の保育室、3階屋上で、遊戯場となります。

現在の保育所の入所定員は計116名であり、移転後の定員数は、合計148名の子定となっております。

また、1階部分の子育て支援の拠点となる地域子育て支援センター「はぐ」を開設していきます。

***「はぐ」とは？**

妊産婦や乳幼児及びその保護者を対象とした人々へ子育て家庭がお互いに交流できる場所の提供や子育てに関する相談や情報提供などを行い、子育て世代への支援を目的とした施設です。新施設の運用開始は、平成32年1月になる予定です。



**子供たちの安全を最優先に考え
対応していきます**

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震によりコンクリートブロック塀が倒壊し登校中の児童が下敷きとなり亡くなるという痛ましい事故が発生しました。このような事態を重く受け止めた市政会として市長に緊急要望を提出しました。

府中市では、安全面から早急に対応が必要と判断された道路に接するブロック塀などの安全対策を迅速に行っています。

今回の補正予算では、1小・武蔵台小・新町小・四谷小・日新小学校のブロック塀などを撤去し、フェンスなどを設置していきます。



「一般質問」 ちゅうバスの運行開始から15年を迎えるにあたって

平成15年12月1日から、4路線で運行を開始したちゅうバスは、現在5路線7ルートで運行され、本市における交通不便地域の解消や利便性の向上に、寄与していることは言を俟ちません。

地域によっては慣かに運行基準を満たせず、恩恵を受けられないことへの不満や、そもそも府中駅を中心とした路線設定に、疑問を投げかける市民や、また、新たな施設の誕生や超高齢化社会への移行といった社会情勢の変化を、ちゅうバスの運行に活かし切れておらず、運行基準を再構築すべきではないかとの市民の声が届いています。

運行開始から間もなく15年を迎えようとするこの節目にあたって、改めてちゅうバスの現状及び課題をお聞きし、取り分け、時代の要請に応えるために、高齢者や障がい者の社会参加の促進等の運行目的について、これまで以上に重きを置くことを求めたいと思います。

また、観光資源の活用や他の交通機関及び公共施設への利便性を高め、市の活性化に繋げるうえからも、新たな視点での運行基準の策定を求め、質問しました。

Q.市が考えるちゅうバスの課題について

A. 現在、目指していた交通不便地域の解消については、昨年度実施した4路線の路線変更により、ほぼ達成している状況にあります。また、昨年度末までに2,400万人を超える方々に御利用いただくなど、市民の皆様が「利用したくなるバス」として定着し、市民生活の利便性向上にも寄与しているものと認識しております。

一方で、運行路線や運行本数の増加等により、事業費の増大が課題となっておりますので、今後は効率的な運行によって事業費の抑制を図るとともに、引き続き市民の皆様が愛され、利用していただけるちゅうバスとなるよう、さらなる利便性の向上に努めてまいりたいと考えております。



Q.現行の運行基準の見直しの考えについて

A. ちゅうバスの運行基準の見直しは、既存の交通インフラに与える影響なども勘案し、地域交通全体のあり方について検討する必要があるとともに、市内の効率的なバス路線網の再編成という課題にもつながることから、民間のバス事業者、利用される市民及び自治体が一層に会し、幅広くそれぞれ最良の形が何かを議論する必要があるものと認識しております。

コミュニティバス導入当初の運行目的や基本方針を大幅に変更する議論につきましては長期的な課題になるものと捉えておりますので、御指摘の点も踏まえ、引き続き市民に愛され喜んで御利用いただけるちゅうバスとなるよう、多面的な視点から検討・調整してまいりたいと考えております。

Q.ちゅうバスの運行開始から約6年後に開業した西府駅は、スーパー、病院、マンションなどもでき、着実に発展してきております。その中で聞こえてくるのが、西府駅近隣地にちゅうバスの停留所設置要望の声です。

西府駅のバス停の設置に向け、(私案の一部を述べさせていただきます) いろいろ課題もあると思いますが、今後検討していただき、ぜひ西府駅南側にちゅうバスの停留所を設置していただきたいと思いますが、市の考えについて

A. 平成22年に実施した第2次コミュニティバス検討協議会におきまして、四谷六丁目ルートの変更にあわせ、日新町東部地区への延伸につきましても検討いたしました。日新町東部地区は既存の公共交通が整備されているため、基本的にはコミュニティバスは運行しないとの提言をいただいているところでございます。ちゅうバスにつきましては、市中心部の買い物施設、公共施設へのアクセス及び市内の公共交通不便地域を解消することを目的としており、昨年の路線変更でその目標を達成したものと捉えておりますので、現在のところ全体に影響を及ぼすような大幅な路線変更は予定しておりません。

御提案のございました路線の延伸を実施する場合、バスの増便が必要となり、大幅な経費の増大が見込まれることから、当該路線だけでなく、ちゅうバス全体の運行本数や料金体系なども見直す必要があるとともに、コミュニティバス導入当初の運行目的や基本方針を大幅に変更することにもなることから、市内の効率的なバス路線網の再編成という地域交通全体のあり方に係る課題になるものと捉えております。

今回、調査の結果、多くの方々から強い願いを受けて、一般質問という形で要望しました。これからもあらゆる機会を通じて地域の声を反映していただくよう働き続けます。

府中市民を対象とした世論調査

府中市では、毎年世論調査を実施しております。

今後の市政運営に関して、諸施策に対して市民の皆様のご意見を把握することにより、参考することを目的としております。

調査内容の一部抜粋 ※1500人を対象としたアンケート結果

「住み心地」について

・「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」合わせ9割半ばが「府中市は住みよい」と感じている。

「定住意向」について

・「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」合わせ9割半ばの方が「今後も府中市に住み続けたい」と感じている。

「市政に対する関心度」について

・「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」合わせ6割半ばの方が市政に関心を持っている。

年代別では、70歳以上の方が82.5%の高い割合で関心を持っています。18～29歳では、34%と最も低く、関心が薄れている傾向が見られます。

皆様が日頃感じている事や
お考えなどありましたら

ぜひ右記までご連絡ください

府中市議会議員

松村 ゆうき

FAX 042-369-1166

メールアドレス sisei-link@fuchu-yuuki.sakura.ne.jp